大正デモクラシー期における公園と社会

丸 山 宏*

Public Parks and the Society in the Period of Taisyo Democracy(1905-25)

Hiroshi MARUYAMA

摘要：周知のように日本近代社会における最初の民衆運動は大正デモクラシー期（1905-1925）にあらわれた。それは1905年9月5日の日露講和条約反対の日比谷焼討事件にはじまる。官庁街の顔として1903年6月に開園した日比谷公園が民衆の政治運動の発露の場として機能したわけである。それ以後、地方においても護憲運動・米騒動・普選運動等の民衆運動は各地の公園をその舞台として示威運動を展開する。公園という民衆に開かれた空間が運動の拠点となる。1920年5月2日、上野公園で開催されたわが国最初のメーデーは民衆運動にとって象徴的事件といえる。本論では民衆運動の中で公園が社会的に認知される経緯を明らかにする。

1. 序

日本近代において公園というものが国家あるいは民衆の意思の発露の場となり、政治的な利用・使用の場を提供しはじめるのは、公園設置後それほど遅くはなかった。当初においては上野公園が国家的行事の場であった。

1879年8月25日、上野公園で天皇の臨幸を仰ぎ、国賓として前アメリカ合衆国大統領グラント將軍の歓迎会が催された。外交的国家行事が公園という場で行われた最も早い時期のものであろう。また、1889年2月12日には帝国憲法発布式典に際し、天皇皇后の新橋から上野公園への行幸行啓があった。

さらに、上野公園では近代日本がはじめて経験した対外戦争であった日清戦争勝利の祝勝会が開催される。上野公園は国家的という観点からはすでに1877年、81年、90年と第1回から第3回までの内国勲業博覧会場として国の勲業振興政策を押し進めるため利用されてきたし、またその後も1907年の東京勲業博覧会、14年の東京大正博覧会、同22年の平和記念東京博覧会など数々の博覧会が開催されている。しかし、戦争は公園を祝勝会場として、国家的であると同時により一層政治的セレモニーの場として演出させる契機となる。戦争は最も劇的な政治的セレモニーである。

1894年12月11日付『郵便報知新聞』は上野公園での「東京市第一回戦捷祝賀大会」の様態をこう伝えている。

東京市民は一団として一昨日（9日—引用者注）の日曜をトして上野公園に第一回の祝捷大会を開けり、第二回を開くは蓋し北京没落の後にあらん（中略）たゞ定刻より日比谷或は上野公園に参集するもの先を争ひ非常の盛會を見ることを得たりしは幸ひ

と云ふべし。

記事は、後の日比谷公園地である日比谷ヶ原にも群衆が集まり、二重橋あたりまでも立錐の余地がなかったと続く。日清戦争につづき日露戦争に際しても祝勝会が举行される。1903年6月に開園した日比谷公園は絶好の祝賀会場となる。1904年5月8日の祝勝会は次のような報道であった。

市民大祝捷会の提灯行列は、一昨夜（5月8日—引用者注）を以て実行せられたり、同午後六時日比谷公園に向つて集合し来れるものは都下の各新聞社、通信社、雑誌社並に各区有志の連合団体凡そ十萬を以て算せられぬ¹⁾

翌1905年には日比谷公園で何度となく「祝捷会」が開かれている。1月7日は「広き萬人を容れて余りあるべき日比谷公園の運動場は、昨日（7日—引用者注）人を以つて立錐の余地なきまでに至りぬ。」²⁾ 3月18日は「奉天附近の大会戦に於ける皇軍の偉功を感謝し、兼ねて空前の大捷を祝賀せんため、東京市民は十八日、日比谷公園に於いて盛大なる祝捷会を催したり。」³⁾ 6月1日も「東京市祝捷会は予期のごとく昨日（1日—引用者注）午後二時より、日比谷公園に於いて挙行されたり。」⁴⁾ いずれの祝勝会にも東京市長尾崎行雄は演壇に立ち、祝捷文を読み上げている。

完成間もない日比谷公園は地理的にも議場に近く、戦争祝勝のセレモニーには絶好の立地条件であった。しかし、同年9月5日の日露講和条約調印は逆に熱狂の群衆のエネルギーを講和反対の国民大会に向けさせることになる。いわゆる大正デモクラシーの発露である。大正デモクラシー期には公園は一段と政治性を帯びた存在とな

*京都大学農学部林学科

り、公園の存在なくして民衆のエネルギーのはけ口はなかった。以下、主として新聞記事から大正デモクラシーにおける公園の社会的側面を詳細に検討したい。

2. 大正デモクラシーと公園

ここでは大正デモクラシーの政治的経過を詳述するのが目的ではない。それは多くの碩学の歴史研究があり、それを参照すれば十分である。大正デモクラシーを以下の引用によって概括しておく。

日露戦争のおわった一九〇五年から、護憲三派内閣による諸改革の行なわれた一九二五年まで、ほぼ二〇年間にわたり、日本の政治をはじめ、ひろく社会・文化の各方面に顕著にあらわれた民主主義的傾向というのであるが、これを生み出したものは、基本的に、広汎な民衆の政治的、市民的自由の獲得と擁護のための諸運動⁵⁾

(1) 日比谷焼討事件

さて、大正デモクラシーは場所的には日比谷公園からはじまったといっても過言ではない。日比谷焼討事件として後世に名をとどめ、日露戦争講和反対運動の起動力となった事件から検討してみる。

まだ、焼討事件が起こる前、1905年9月5日付『東京朝日新聞』は、日比谷公園の講和反対の国民大会開催に対する警察の干渉を予測し、次のような記事を掲載している。

従つて政府は或は本日の大会に干渉を加へ、参集者をして公園内に入らしめざるが如き手段を執るやも測り難し然れども市民が大会以外に於て公園に遊ぶとも、警察の干渉すべき道理なければ、誰人も遠慮なく、自己の公園に出入すべしとなり。

公園立ち入りは個人の自由のはずであり、警察が干渉できるものではないと。しかし、国民大会開催を阻止するため、午前10時頃から警視庁は「恣まゝに日比谷公園の各門に大丸太もて鹿柴を築き、巡査の鉄条網を張りて公衆の入るを禁じ、在園者は皆退去を命じたり」⁶⁾と。日比谷公園の6つの門はバリケードで封鎖され、700名の警官隊が警備していたが、東京市参事会員を先頭に群衆は公園内に雪崩込んだ。しかし、中央広場での国民大会自体は30分ほどで終わっている。この後、デモの群衆は御用新聞の国民新聞社、公園正門前の内相官邸を包囲、投石し、夕闇の中、市内の警察署・派出所・交番を焼討ち、襲撃した。

日比谷公園での国民大会開催の意味は何であつたのか。日比谷公園は明治政府が近代国家たらしめ、官庁街の顔としてようやく、1903年6月、開園式をあげた「洋式公園」であつた。日露戦争祝捷会ではこれほど有効に機能した公園はなかったのではないと思われる。しかし、その政府のお膝元の公園が、わずか30分でも民衆の意思

によって占拠されたわけである。逆に、お膝元の公園であつたからこそ、国民大会開催にはプロパガンダとして有効であつたといえるのではないか。

また、表-1の年譜にあるように日比谷公園以外の公園(中之島・氷川公園・上田町旧城址公園)においても市民大会が開催されており、公園というものが一つの民衆の意思を表出する場となっていることが理解される。

(2) 東京市電運賃値上げ反対運動

次に日比谷公園において大衆運動が起こつたのは東京市の電車運賃値上げ反対運動である。その背景には日露戦争後の軍事費の増大があつた。「独占資本主義の成熟をまたず、極東における帝国主義争覇戦に参加するという政治的契機において成立した日本帝国主義は、日露戦争においても戦費の大半を外債に頼るほかはなく、しかも償金は皆無であつたので、その負担はすべて国民の上へのしかかつた。」⁷⁾ひいては国民生活を圧迫する。こういう背景のもとに、東京電気鉄道・東京市街鉄道・東京電車鉄道の3社が運賃値上げを東京府知事および警視総監に1906年3月2日、申請した。その乗車運賃改定の願書には「現在の三社格別三錢均一の制を改めて、三社共通五錢均一となす事」⁸⁾などが記されていた。同3月11日、日比谷公園で運賃値上げの示威運動が行われるが、これは反対運動を成功させるため、前日10日に日比谷公園にて市民大会開催の旨を記したピラ5万枚を日本社会党员が中心になり配布した成果でもある。⁹⁾

日比谷公園での反対運動は年譜にあるように9月まで断続的に行われる。1906年9月5日の市民大会を『時事新報』はこう報じている。

昨年の九月五日は、実に我が東京市に大騒擾の演ぜられたる日なり。東京市民はこの忌むべき一周年記念日を以て、日比谷公園に電車値上げ反対の大会を催さんとす。これより先、警視庁を始め所轄署にては、非番巡査を召集してことごとく角袖に扮装せしめ、嚴重に公園の内外を警戒したるが、この角袖の数数百の多きに上り、市民大会というよりはむしろ角袖巡査の大集会と云う光景なると(略)¹⁰⁾

結果的には反対運動の間、8月1日、3会社が合併し東京鉄道会社となり乗車賃は4錢均一とされた。その後、東京市会が東京鉄道市有化を決議した時にも、1911年7月8日、日比谷公園で市有反対の市民大会が開催されている。

(3) 第1次護憲運動と対支問題

次に現れるのは第1次護憲運動(1912.12-13.2)時である。周知のように第1次護憲運動とは「山県有朋・桂太郎を背景とする陸軍の強引な2個師団増設要求による西園寺公望内閣の倒壊と、それにつぐ桂太郎内閣の出現を契機として、軍閥・官僚の恣意から憲政を守るために展開」¹¹⁾した運動であり、「民衆運動が直接内閣を倒

したのは近代日本史上最初の事である。」¹¹⁾

年譜にあるように日比谷公園松本楼で1913年1月には憲政擁護の集会がもたれている。大阪での2回目の憲政擁護大会は2月1日、中之島公園で開催された。

中之島公園公会堂跡地において、第二回憲政擁護大会を開催せり。(中略) 憲政擁護、閥族打破の叫びに亢奮せる市民は、早朝より弁当を携えつつ詰め掛け、約二千坪の大広場も見見る頭顱の海と化し、その数無慮二万と註せられ、実に第一回大会に数倍するの盛況なり。¹²⁾

2月10日には日比谷公園に集まった群衆が騒擾となり、再び焼討事件へと展開する。年譜にあるように京都でも円山公園、岡崎公園で護憲の群衆が暴徒化する。

何人の所為なるか市内各所に、十九日夜は上京方面は二条離宮附近に、下京附近は円山公園に集まれよととの貼紙をなしたるものあり、人気いよいよ不穏となりたるが、果然午後七時前後、円山に集合するもの約三百、北野天神境内に集まるもの約五百、二条離宮前には約五、六百の集団、なんらの意味もなく蟬集し、形勢刻々に不穏となれり。(中略) やがて円山の一団は例のごとく関を作って、知恩院前を北に岡崎公園に驀進し、公園の巡査派出所を破壊し…(以下略)¹³⁾

護憲運動の高まりの中で、桂内閣は倒閣(1913.2.10)し、その後を引き継いだ山本権兵衛内閣もシーメンス事件により総辞職に追い込まれる。1914年2月10日には日比谷公園で山本内閣弾劾国民大会が開かれている。新聞は「日比谷に四万の大群集」(『大阪毎日新聞』1914.2.10)の見出しで報じている。同年4月16日、山本内閣は総辞職する。

また、大陸では辛亥革命勃発後、孫文にかわって袁世凱が実権を掌握した時期に、日本人が殺害された南京事件が1913年9月1日に起こる。9月7日、日比谷公園松本楼で「暴戾なる支那兵の帝国旗凌辱並びに邦人虐殺に憤激して起これる対支問題有志会」¹⁴⁾が開かれ、さらに2万人を超える民衆が公園内に集まってきた。

しかるにこの時突如として屋外演説禁止の命ありたるより、これを大書して、音楽堂附近を触れ歩かしめたるため今まで公園内に密集せし大群衆は雪崩のごとく松本楼に押し寄せ、公園の塙は見見る破壊されて、会場内外の大混雑名状すべくもあらず、正午頃に至って民衆既に二万を超えたり。¹⁵⁾

年譜には1915年にも対支問題について、日比谷公園で行われた集会の記事があるが、この時期の対支問題は第2次大隈内閣の外交政策に対する不満を表出したものである。政府は第一次世界大戦参戦後、1915年1月18日、中国における利権獲得のため、21ヶ条の要求をしたが、中国民衆、英米諸国の反対により、その交渉はなかなか

進捗せず、5月25日ようやく日華条約が調印される。国民外交同盟会は強硬な外交政策を訴え、また、野党は対外政策の失敗として内閣を弾劾した。同年12月18日には野党であった政友会・国民党の主催する内閣弾劾演説会が歌舞伎座で開催され、散会後「更に弁士も聴衆も一斉に日比谷公園に押し寄せた。」¹⁶⁾

(4) 米騒動

次に民衆運動が公園をそのアピールの拠点としたのは、米騒動であった。1918年7月23日、富山県魚津町の沖仲仕でもあった漁民の妻達が県外に移出する米の積込みを拒否したことを発端に、県内の米穀商・資産家・役所に米の安売り、生活困窮者の救済を求めた大衆運動が起こった。9月17日福岡県明治炭鉱での騒動鎮静で一応の終結をみるまで57日間の全国規模の民衆暴動である。その広がりには1道3府32県にも及んだ。¹⁷⁾この米騒動は戦争景気のまっただなかで起こったもので、日本資本主義の矛盾を露呈したものである。示威運動の拠点となった公園も今まで以上に多い。紙上で確認できた公園は年譜にあるように鶴舞公園・円山公園・天王寺公園・湊川公園(神戸)・日比谷公園・稲荷公園(福島)・和歌山公園・浅草公園・上野公園・福山公園・奈良公園・横浜公園・高知公園・仙台西公園・太田町公園(甲府)・道後公園・長岡市公園・白山公園・善光寺東公園と全国諸都市の公園で、組織・指導者層をもたない民衆の示威行動があったことは特筆に値する。

鶴舞公園の例を見ておく。名古屋の鶴舞公園は1918年8月10日、その数1万人が集結し、公園での第3師団軍楽隊の演奏会の予定は中止される。

納涼かたがた夕方より公園差して押し掛けくるもの引きも切らず、公園行き電車はいずれも鈴生り、満員の盛況といわんよりむしろ一種の凄味を呈した。ために公園音楽堂を中心に集まった群衆は、午後八時というに早くも三千、同三十分には五千、九時には無慮一万という大した数に上り、故なく蠢動く群衆の面にもなんとなく不穏の色を添えた。¹⁸⁾

2日後の12日には「然るに日没となるや市民は又もや鶴舞公園音楽堂を中心として轟々と詰掛け午後九時頃約十万人」¹⁹⁾にもものぼった。

(5) 普選運動

米騒動は結果として、寺内内閣を解散に追い込み、わが国最初の政党内閣である原敬内閣を出現させた。この原内閣時に普選運動は高まりをみせ大衆化する。公園における普選示威運動の最初は1919年2月11日、日比谷公園で起こった。都下各大学の学生が組織した普通選挙促進同盟会、全国学生同盟会の主催の示威大会は午前10時半から日比谷音楽堂前の運動場で開かれた。

「丁年以上の男子に選挙権を与へよ」の声に呼び起こされた学生等は午前九時頃から雪融けの泥路を事

ともせずヒシヒシと押寄せる。白と赤の布片を角帽に結へ付けた各学校の委員連は頻に奔走に努める。十時半赤に早大の徽章を染抜いた旗を振りつゝ校歌を合唱して早大の一隊が練込んで来ると此日の世話役西岡竹次郎君の脱帽姿が堂の前面に現れ拍手は割るゝやうに鳴り響く。²⁰⁾

3月1日には普選期成同盟会主催の示威大会が同じ日比谷公園で開催された。その後も年譜にあるように、1925年3月2日、衆議院で普通選挙法が可決されるまで、各種団体が各地の公園で示威運動を行っている。

そのなかで1920年6月6日付『国民新聞』には6月6日、上野公園での普選促進期成同盟連合会開催に対し、警視庁は「屋外演説は許可したも若し参加者が公園内其他にて示威運動をする時は直ちに相当処分する。又今後日比谷、芝公園等の集会は過般騒擾を醸したるに鑑み絶対に許さぬさうである」と公園における強権発動の示唆を報じている。また、1922年2月23日に普通選挙法案が上程された際、数万におよぶ群衆が議事堂に押し寄せ、日比谷公園が警官で埋め尽くされていた状況について、同月25日付の『郵便報知新聞』は英字紙アドバタイザーの記事を紹介している。

殊に彼の公園（日比谷公園一引用者注）を巡査で埋め議場附近に荒縄を巡らし民衆の活動を阻止した現象は如何に政府が時代錯誤に陥つてゐるかを証明するものである。公園は娯楽の公開場で此場所を警官を以て埋める事は殆ど革命の精神を表示した様である人民一般の投票権を得んとして年三円の納税者が負担よりも大なる旅費を投じて国内各所から上京してゐる青年等の熱意は如何なる政府も認めねばなるまい。之を阻止する警官の任務は人民保護の任務でなくて国民を敵とする矛盾に陥つてゐる

公園に対する彼我の見方の違いである。市民革命を経て公園を手に入れた国民と国家から与えられた国民との公園観の差である。

（6）労働運動とメーデー

公園は普選運動の展開とともに、労働運動にとってもその示威行動の表出の場として機能する。年譜を参照すると、例えば1919年8月には友愛会は中之島公園公会堂、岡崎公園公会堂で国際労働会議の報告会を開催し、同年12月には芝公園三縁亭で日本労働党発会式が行われ、11年4月には天王寺公園公会堂で日本労働総同盟関西同盟会の大会が、同年9月には同所で日本労働組合総連合の創立大会が開かれている。1926年12月には芝公園協定会館で日本労働党結党式あるいは統一運動全国同盟大会が芝公園協定会館で行われている。その間、年譜には労働運動関係の会場に公園が登場している。

最も象徴的なことは労働者の祭典であるメーデーが創設され、会場が公園に充てられたことである。第1回は

1920年5月2日、上野公園で行われた。

「来れ上野公園へ！」の声が政治運動に聞き飽きた市民の耳へ新なる旋律を以て労働者団体から叫ばれた。友愛会を中心とする十五団体は昨日曜（5月2日一引用者注）を期し兎に角最初の労働祭を若葉に萌ゆる上野公園に開催して「労働者のみ是を知る」てふ祝祭に万丈の気を吐いたのである。²¹⁾

これ以降、1935年まで16回、毎年メーデーが各地で開催され示威運動が行われた。年譜にあるように各地の公園が会場となった。

なお、第2次憲政擁護運動（1922.6-24.6）においても年表にあるように公園はその舞台であった。1924年2月17日の上野公園の大会は2万人に達している。²²⁾

3. 結び

大正デモクラシーと関連した日露講和反対運動・電車賃値上げ反対運動・護憲運動・対支問題・米騒動・普選運動・労働運動等いずれも日本の近代史において重要な事件であり大衆運動であったが、その表出の場として公園というものが登場する。日比谷公園はとく大正デモクラシーにとって重要な公園であった。

1903年開設の日比谷公園はそのレイアウトにより近代的洋式公園の濫觴といわれているが、むしろ、近代的公園として評価するとすれば、大正デモクラシーの発露の場として、その存在が喧伝せられてからではないだろうか。そういう意味においては近代的公園の濫觴という評価も首肯できる。

大正デモクラシーが運動の場としての公園を抜きにして語れないことは、以上から明白であるが、年譜を参照してもらえればわかるように、一連の大正デモクラシー運動とは直接関連のない記事もある。それは序に述べたセレモニーの場としての公園の利用である。表-1で右端に*印を付した記事は日露戦争以降のセレモニー関連の記事である。*印の記事から公園の利用類型をみるとおよそ、憲法発布記念祝賀会・国葬会場・大典記念式場・市制実施祝賀会・慶事奉祝会・その他祝賀会に分けることができる。これらは概して国家的なセレモニーである。近代国家にとっても政治的セレモニーを行う場として、大衆に開かれた空間で、しかも、多くの大衆が一時に集まることの可能な公園は最も効果的であったといえる。

公園は社会の窓と言われることがあるが、大正デモクラシー期についていえば、まさに公園は言葉通りの機能をはたしていたといえる。また、国家によって作られた公園という存在が、近代社会において民衆運動の中で認知されてきた過程でもある。

引用・参考文献および注

- 1) 東京朝日新聞(1904.5.10)。2) 国民新聞(1905.1.8)。

表-1 大正デモクラシー期前後における公園と社会情勢関連年譜

'77. 8.21	上野公園にて第1回内閣勲業博開催。第2回(M.14.3)	4. 3	天王寺公園公会堂にて友愛会創立6周年記念公園会開催。
'79. 8.25	上野公園にてグラント将軍歓迎会。第3回(M.23.4) *	4.21	岐阜公園に板垣退蔵記念銅像除幕式。
'89. 2.11	中之島公園、高知公園等で憲法発布記念祝典。	8.10	米価暴落を罵る群衆1万、名古屋鶴舞公園に。
2.12	新橋より上野公園まで天皇皇后行幸行啓。	8.11	円山公園に騒擾の群衆。天王寺公園公会堂にて米価高騰に対して市民大会。
'94.12. 9	上野公園にて東京市の日清戦役第1回祝勝会。後の日比谷公園地である日比谷ヶ原に市民群衆。	8.12	名古屋市の米騒動で市民10万人、鶴舞公園に集結。
'95. 5.21	日比谷公園道路取払、日比谷練兵場において煙火、日比谷原頭に凱旋門の設置計画。	8.13	帝都米騒動で市民日比谷公園に集結。福島市稲荷公園に和歌山公園に群衆集結。4、5千の群衆騒擾。
5.30	日清戦役凱旋奉迎。日比谷原頭に凱旋門。	8.14	鶴舞公園に市民集結。(15日にも)日比谷、浅草、上野公園に騒擾の群衆。広島福山公園に群衆。奈良公園に群衆集結。集。
'96. 5. 3	日比谷公園公開を一時延期、向こう2年間陸軍省の仮兵	8.15	横浜公園にて市民大会の噂、群衆約千名。16日にも鶴
'03. 6. 1	日比谷公園開園 含用地に貸与。	高知公園に市民200名集結。群衆。(内務省発表)	日比谷音楽堂前に約200人、上野公園付近に1万人の
'04. 2.10	日露戦争祝賀に期せずして日比谷公園に市民参集。	8.16	高知公園に群衆集結。仙台西公園に約2千の群衆。甲府太田町公園に200名集結。松山道後公園での市民大会開催阻止。
5. 8	日比谷公園にて各新聞社・通信社の発元により東京市民祝捷大会。	8.17	新潟長岡市公園に群衆。新潟市白山公園に群衆。横浜公園に数千の群衆集結。長野善光寺東公園に2千余名集結。
9. 2	日比谷公園をはじめ市内各所で連陽会戦勝利の祝勝。	12.18	煙草専売局の女工、芝公園に主任技手排斥の会合。
'05. 1. 7	日比谷公園にて旅順陥落の祝賀会。	'19. 2.11	日比谷公園にて全国学生同盟主催の普選示威大会。
3.18	日比谷公園にて奉天会戦の祝捷会。	2.17	日比谷公園でアジ演説の朝鮮人学生引致。
6. 1	日比谷公園にて日本海会戦大勝の東京市祝勝会。	3. 1	日比谷公園にて普選期成同盟会主催の大会。祝奉。
9. 3	中之島公園公会堂にて講和反対の大阪市民大会。	* 5. 7	皇太子、成年式に際し、中之島、天王寺、岡崎公園等に
9. 5	日比谷公園において日露講和反対の国民大会開催。その後、焼打事件に発展。	8. 1	中之島公園公会堂にて友愛会会長、国際労働会議の報告
9.18	長野県民非講和大会(上田町旧城内公園)。	8. 4	岡崎公園公会堂にて同上。演説。
9.20	埼玉県大宮町水川公園にて県民非講和大会。	10.12	日比谷公園にて各省判任官雇員のベースアップ要求の大会流会。
10.24	上野公園にて東郷平八郎歓迎会挙行。	11. 9	上野公園精養軒にて現内閣弾劾全国有志懇親大会。
12.17	上野公園にて東京市民の陸軍大歓迎会挙行。	12.15	中之島公園公会堂で普選期成の関西労働連盟が協議会。
'06. 2.16	日比谷公園から上野公園まで行進。で行進。	12.24	芝公園三縁亭で日本労働党会式。威運動。
3.11	第2回陸軍凱旋歓迎会挙行。上野公園から日比谷公園ま	12.25	日比谷公園にて純労会・青年改造連合会の普選促進の示
3.18	日比谷公園で社会党員ら電車賃値上げ反対大会。15日	'20. 1.18	大阪中之島公園中央公会堂にて普選期成関西労働連盟の日比谷公園で普選の学生大会。演説会。
8. 7	同日第3回市民大会を上野公園で開催後、日比谷も。公園までデモ行進の予定禁止される。	1.22	日比谷公園松本楼で普選促進記者同盟を組織。中之島公会堂で普選期成関西連盟の第1回大会、後中之島公園から示威デモ。
'08. 2.11	日比谷公園にて電車賃値上げ反対のデモ行進を決議。9月5日同公園にて反対大会。到。	1.27	東京市の理髪業者、日比谷公園で増税反対の同業者大会。
3. 7	日比谷公園にて主催者不明の増税反対国民大会に群衆殺	2. 1	中之島公園音楽堂に友愛会主催普選促進の大会。
*'09. 2.11	普選期成同盟会主催の国民大会、日比谷公園にて計画するが禁止される。	2. 8	浅川公園にて関西労働連盟主催の示威運動。
4.11	日比谷公園で憲法発布20周年記念祝賀会。	2.10	芝公園にて全国労働団体連盟主催普選演説示威運動。
'11. 7. 8	埼玉県耕地整理反対派、陳情で日比谷公園に会すが、12日解散させられる。	2.11	上野、芝公園に労働団体連盟の普選示威運動。日比谷公園
10.17	日比谷公園にて、電車市有反対の市民大会。	2.13	日比谷松本楼にて普選各派連合懇親会。に向かう。
'13. 1. 6	日比谷公園松本楼にて有志の支那問題合会。合。	2.14	日比谷公園に集結した普選連合懇親会1万の群衆議院に殺到。
1.14	憲政擁護の都下各団体代表有志、日比谷公園松本楼で会	2.22	日比谷、上野、芝、数寄屋橋公園にて普選示威運動。
1.30	12日同所で憲政擁護連合大会。加。	3.21	芝公園にて全国普選連合大会。7、8千の群衆。
2. 1	桂内閣支持派の新聞記者約40人、日比谷公園松本楼で、	4.19	日本最初のメーデーを芝か日比谷公園にて開催予定。
2. 6	中之島公園にて大阪での第2回憲政擁護大会、2万人参	4.20	中之島公園公会堂にて憲政近畿大会。
2.10	日比谷公園に集結した全国青年大会の一群、院議を包囲。	5. 2	上野公園で日本最初のメーデー。
2.11	護憲派による焼討騒動。日比谷公園において群衆の騒	5.16	飛鳥山公園にて府下王子町の借家人同盟民衆大会。
2.17	公憤の市民、中之島公園に集結。撲。	6. 6	上野公園の普選連合会演説会に民衆3万。上野公園で普選促進期成同盟連合会開催に対し、監視隊は公園内での示威行為を禁止、また今後、日比谷・芝公園等の集会は神戸湊川公園にて労働大会。禁止の方針。
3.16	円山公園にて護憲の群衆集結。18日も、19日、円山公園に集結した群衆、岡崎公園へ。	7.10	日比谷、上野公園にて内閣弾劾の国民大会。
9. 7	中之島公園にて2府11県の関西民大会、会衆5万。	7.12	日比谷公園にて普選案否決に対する国民大会。
11. 7	日比谷公園にて、対支問題国民大会。	7.27	日比谷公園の国民大会、政府弾劾の決議。
'14. 2.10	第13回愛国婦人会総会、日比谷公園にて挙行。(件)。	9.12	上野公園にて立憲労働会主催の対支問題演説会後、日比谷公園まで示威行列監視隊により不許可。
3.20	日比谷公園にて、山本内閣弾劾国民大会(シーメンス事	9.26	日比谷公園から普選の民衆2万人、議会へ。
4. 3	東京大正博覧会、上野公園にて開場。7月31日まで。	10. 3	天王寺公園公会堂にて大日本労働総同盟友愛会第8周年
'15. 1.31	日本弁護士協会、上野公園精養軒にて臨時大会。	10.27	岡崎公園公会堂にて憲政近畿大会。大会。
4.27	日比谷公園松本楼にて対支問題の国民外交同盟会。	12.10	日比谷公園にて明治神宮鎮座祭東京市奉祝会。
6. 3	日比谷公園松本楼にて対支問題大懇親会。	12.12	社会主義同盟創立記念式に際し、会場の青年会館、日比谷、上野、浅草、芝の各公園に警官配置。
6. 4	日比谷公園にて対支外交糾弾集会、大隈内閣糾弾。	12.15	上野公園にて全国青年学生団主催の排日土地法に対する抗議演説会挙行。
8.12	日比谷公園にて愛国婦人会総会。	12.15	天王寺公園に大日本国粋会会員参集後、中之島公園公会堂にて大阪本部の発会式。
* 9. 7	日比谷公園にて井上馨葬儀、会葬者3千人。	'21. 1.23	京都岡崎公園公会堂で僧侶参政権獲得のため関西仏教徒
* 11.10	白山公園(新潟)にて大典記念式典挙行。	2.13	上野公園にて憲政会、原内閣弾劾の演説会。大会。
* 12. 9	上野公園、大正天皇即位市民奉祝会場。日比谷公園から上野公園へ提灯行列。	2.17	中之島公園公会堂で軍備制限大演説会。
12.18	歌舞伎座で内閣弾劾演説会、その後、聴衆日比谷公園へ。	2.19	日比谷公園にて内閣弾劾の示威行動。会。
'16. 3.14	日比谷公園松本楼にて電車値上げ反対市民大会。	3.11	中之島公会堂で大日本実業連合会の軍備制限問題大演説
5.24	日比谷公園にて第15回愛国婦人会総会。	5. 1	東京では日比谷、上野、芝等、大阪では中之島、天王寺等、神戸では大倉山、湊川公園等でメーデーのデモ。
* 12.17	日比谷公園にて大山巖国葬。		
'17. 4.30	井の頭恩賜公園開園。		
* 6. 7	岡崎公園、大典の大饗宴場が京都市公会堂に。		
9.20	上野公園にて化学工業博覧会開会。		
*'18. 2.11	上野公園にて憲法発布30周年祝賀国民大会。		
3.20	上野公園にて電気博覧会開幕。		
* 4. 1	大垣市、南公園にて市制実施祝賀会。		

3) 同(1905.3.19)。4) 時事新報(1905.6.2)。5) 松尾
尊兌(1974):大正デモクラシー・岩波書店、はしがき。6)

東京朝日新聞(1905.9.6)。7) 松尾掲掲書、41。8) 東京
朝日新聞(1906.3.8)。9) 信夫清三郎(1968):大正デモク

- * 5. 5 日比谷公園にて皇后行啓の日本赤十字社第2回総会。
 5. 7 日比谷公園にて第20回愛国婦人會總會。
 6. 24 中之島公園にて4千の工員、示威運動。
 12. 11 中之島公園にて大阪砲兵工廠の6千人が軍縮による失業に対する示威デモ。
 12. 21 日比谷公園にて安田家の寄付で公会堂建設計画公表。
 '22. 1. 6 日比谷公園にて消防出初式、一般公衆は立ち入り禁止。
 * 1. 17 日比谷公園にて大隅重信の国民葬。／までデモ。
 1. 22 中之島公園にて普通選期関西労働連盟大会、天王寺公園
 2. 5 芝公園にて普通選期行国民大会。中之島公園公会堂にて普
 * 2. 9 天王寺公園にて山県有朋国葬。＼選要求市民大会。
 2. 11 芝公園にて第2回普通選期行国民大会。
 2. 25 芝公園にて第3回普通選期行国民大会。
 3. 10 上野公園にて平和記念東京博覧會開催。
 4. 2 天王寺公園公会堂にて日本労働総同盟関西同盟大会。
 5. 1 メーデー
 7. 16 芝公園の憲政擁護民衆大会に聴衆3万。
 * 8. 26 函館公園にて市制祝賀會。
 9. 30 天王寺公園公会堂で日本労働組合総連合の創立大会。
 10. 1 天王寺公園公会堂にて日本労働総同盟全国大会開催。中
 之島から天王寺公園までデモ。3日まで。
 * 11. 11 日比谷公園にて国際連盟協和、平和協和、東京府、東京
 市等の主催により、休戦条約祝賀平和運動祝賀會開催予
 '23. 1. 20 日比谷公園松本楼にて普通選期同盟在京記者大会。＼定。
 2. 11 上野公園精養軒にて普通選各派連合懇親會。中之島公園
 に各種労働団体集合し、普通選示威行動。全国労働組合総同
 盟の千余名、深川公園へ。岡崎公園公会堂にて全京都無
 産者演説會。中之島、天王寺公園にて労働三法案反対の
 * デモ。鶴舞公園でも。
 2. 16 中之島公園公会堂にて普通選即行関西新聞記者大会。
 2. 21 芝公園に集合した民衆約5、6万人、坂本公園まで普通
 2. 23 芝公園にて普通選示威のデモ。＼示威のデモ。
 3. 2 岡崎公園公会堂にて第2回水平社大会。
 4. 26 中之島公園公会堂にて社交俱樂部「清交社」の創立總會。
 5. 1 メーデー。芝公園に1万人、上野公園へデモ行進。横浜
 公園でメーデー。中之島、天王寺公園でメーデー。鶴舞
 公園でメーデー。
 * 7. 30 中之島公園公会堂にて官業労働関西同盟の創立大会。
 8. 21 上野公園にて東京市、12月に市民の慶事奉祝會を予定。
 9. 1 関東大震災
 11. 4 中之島公園公会堂にて普通選即行大演説會。
 * '24. 1. 24 上野公園、慶事を記念し東京市に下賜。
 1. 30 中之島公園公会堂にて第2憲政擁護大会。
 2. 5 上野公園精養軒にて憲政擁護全国記者大会。
 2. 17 上野公園にて第2憲政擁護大会、2万余の大行列。
 2. 29 日本農民組合第3回全国大会、中之島公園に集合し、デ
 モ後、天王寺公園公会堂で開催。30日も。
 3. 4 岡崎公園公会堂で第3回全国水平社大会。
 3. 12 岡崎公園公会堂にて京都労働学校開校の記念講演會。
 3. 20 岡崎公園にて東宮御成婚奉祝万国博覧會参加50年記念
 3. 31 大衆運動大はやり【東日3.31】＼博覧會開催。
 いわゆる大衆運動は従来労働団体、思想団体乃至政党

- 等の専売だったが最近各方面に波及しいろいろの大衆
 運動が現れ、殊に震災以後一種の流行のやうになり…
 4. 13 中之島公会堂で排日移民法案反対の対米問題大阪市民大
 4. 23 中之島公会堂で対米問題大阪市民大会。＼会。
 5. 1 メーデー。中之島、天王寺、円山公園、大浜公園（増）
 等でメーデー。
 5. 18 芝公園三縁亭にて護憲三派の幹部連合協議會。
 5. 27 芝公園三縁亭にて第2憲政擁護大会、各派代表が演説。
 6. 5 東京市、芝、江戸川、上野等の諸公園を慶事奉祝會
 6. 24 上野公園精養軒にて憲政會、臨時大会。＼場。
 10. 5 岡崎公園公会堂で労働総同盟関西同盟大会。
 11. 27 中之島公園公会堂で交通労働者連盟（組合）創立協議會。
 '25. 2. 28 芝公園協議會館にて第4回日本農民組合全国大会。
 衆議院、普通選挙法案を修正可決。
 3. 15 芝公園協議會館にて機械労働連合会大会。
 5. 1 上野、日比谷公園にてメーデーのデモ。中之島、天王寺
 公園にてメーデーのデモ。横浜、円山公園でも。
 7. 19 芝公園協議會館にて関東台労働組合発會式。
 5. 18 芝公園協議會館にて全国大工職組合発會式。
 8. 10 中之島公園公会堂にて全国無産政党組織準備委員會。
 10. 4 上野公園にて立憲大同連盟結党式。
 10. 31 芝公園協議會館にて東京無産生活者組合準備委員會の創
 * '26. 1. 12 上野公園にて孫孫生誕記念こども博覧會。＼立總會。
 2. 3 天王寺公園公会堂で大阪労働連合、労働立法反対大会。
 2. 7 芝公園にて、労働組合法反対集會後、参加の労働者上野
 公園までデモ。中之島公園にて同上。
 2. 11 芝、上野公園、建国祭式場となる。日比谷公園まで行進。
 芝公園協議會館にて全日本鉄道従業員組合成立。
 3. 9 岡崎公園公会堂にて日本農民組合青年部創立大会。
 3. 10 岡崎公園公会堂にて日本農民組合第5回大会。
 3. 12 同大会最終日、円山公園までデモ。
 3. 19 上野公園で第2回化学工業博覧會。
 4. 10 芝公園協議會館にて日本農民組合脱退派が新組織の準備
 4. 22 中之島公園公会堂にて第1回全国地主大会。＼委員會。
 5. 1 第7回メーデー。芝、上野公園で。
 6. 1 中之島公園公会堂にて日本左官工友會發會式。
 6. 17 岡崎公園公会堂で同志社自由擁護同盟創立大会開催拒
 6. 19 天王寺公園公会堂にて全国学生雄弁大会。＼絶。
 7. 1 岡崎公園にてこども博覧會。
 8. 1 中之島公園公会堂にて全日本無産成年同盟全国協議會。
 9. 28 中之島、天王寺公園にて日本農民組合耕作者権確立のデ
 10. 7 岡崎公園にて京都染織物見本市。＼モ計画。
 10. 14 日比谷公園にて救世軍指令官ブースの歓迎會。
 10. 17 芝公園協議會館にて日本農民党結党式。
 10. 18 芝公園協議會館にて全日本農民組合同盟第1回全国大会。
 10. 19 芝公園にて政府問責の国民大会。
 11. 17 芝公園協議會館にて全日本鉄道従業員組合東京地方連合
 12. 9 芝公園協議會館にて日本労働党結党式。＼会創立大会。
 12. 10 中之島公園公会堂にて婦人矯風會等主催の公娼廃止演説
 芝公園協議會館にて統一運動全国同盟大会。＼会。
 12. 12 芝公園協議會館にて第1回労働農民党大会。

ラシー史：日本評論社、97. 10）時事新報（1906.9.6）。11）
 京都大学文学部国史研究室編（1976）：日本近代史辞典、1
 93、東洋経済新報社。12）大阪毎日新聞（1913.2.2）。13）
 同（1913.2.20）。14）同（1914.2.10）。15）同（1913.9.8）。
 16）東京朝日新聞（1915.12.19）。17）日本近代史辞典、
 210. 18）新愛知新聞（1918.8.11）。19）東京朝日新聞（19
 18.8.13）。20）同（1919.2.12）。21）同（1920.5.3）。22）

同（1924.2.18）。23）『新聞集成明治編年史』（同編
 纂会編、1934-11、15冊）『明治ニュース事典』（同編
 纂委員会編、毎日コミュニケーション出版部、1983-8
 5、全9巻）『大正ニュース事典』（同、同、1986-1989、8
 冊）『新聞集録大正史』（大正出版、1978、15冊）の各
 巻および各紙縮刷版、各紙より作成。

Summary : It is well known that the beginning of mass movements in the modern Japan was born in Taisho Democracy period(1905-25). A city-wide riot arised at Hibiya Park on 5 September 1905, which was so- called Hibiya Incendiary Incident to protest the Russo-Japanese Peace Treaty. Hibiya Park, opened as a public park in June 1903, was in a sense the symbol of the government office quarter and then became an expressional place of mass political campaigns. Since then mass movements, such as Movement to protect constitutional government, Rice riots, Universal Manhood Suffrage Movement and so on, had been arising mainly at public parks in each prefecture. It specially seems that the first May Day held at Ueno Park on 2 May 1920 was a symbolic political movement. The masses politically and socially began to be conscious of existence of public parks during the process of rising mass movements .